

つがる弘前農業協同組合 様

農産物の販売在庫管理アプリで脱紙・脱FAXを実現し、在庫精度向上に貢献

年間5,000枚以上の紙を削減。販売在庫数をリアルタイムで把握し、市場への情報提供を迅速化

青森県弘前市に本店を置くつがる弘前農業協同組合は、りんごを主体に年間約4~5万トンの農作物の受け入れ保管、選別、包装、販売、出荷を行っている。同組合では7拠点の貯蔵庫を管理しており在庫報告を紙で行っていた。しかし、手書きの手間や用紙の保管、在庫数の把握に時間がかかるなど、管理面に課題を抱えていた。そこでPlatioで「りんご在庫管理アプリ」を作成し、スピーディーに一連の業務をデジタル化。ペーパーレス化だけでなく報告作業を効率化し、在庫のデータ化による一元管理、リアルタイム把握が可能に。在庫精度の向上、課題解決につながっている。

課題・目的

- 販売在庫数をメモに手書き、清書し事務所にFAXで送付しており、手間や記入ミスなどが課題
- 1日最低20枚のFAXが各拠点から事務所に送られ、それらをExcelに入力し手作業で集計
- 事務所で報告用紙を1年半保管するためのスペースが必要
- 翌日の販売在庫数の把握に手間がかかっており、全拠点の正確な在庫管理ができていなかった

選定ポイント

- 低コストかつノーコードでスピーディーに現場の運用に合ったアプリを作成でき、改修も容易
- パートナー企業のアプリ作成支援もあり安心
- 拠点ごとのデータを事務所でリアルタイムに一括集約できる
- アプリのデモを確認した際に、操作性が良くアプリへの抵抗感なく使えると実感した

効果

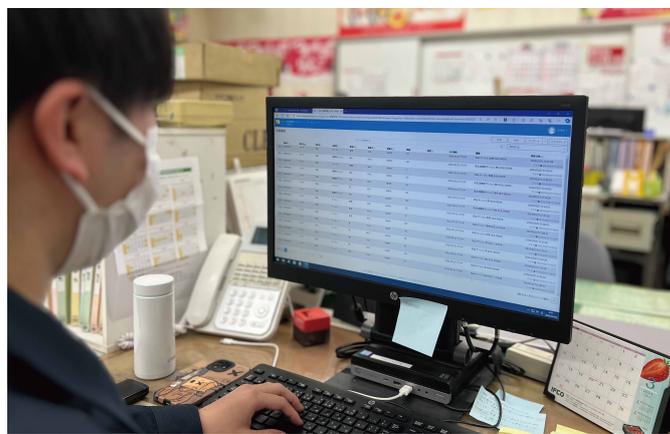
- 各拠点から販売在庫数をアプリで報告。メモに手書きし清書の後、FAXしていた毎日約1時間の作業を削減
- 紙での報告や管理がなくなり、年間約5,000枚の紙を削減。FAXや紙の保管スペースの確保が不要に
- 販売在庫数をリアルタイムで集約でき、年間約500時間の集計作業を短縮
- 取引先である市場に対し、正確な販売在庫数を3時間も早く提供可能に



品種や等級、箱数などほとんどの項目が選択式で手軽に入力



りんごの在庫管理に特化したアプリを作成



各拠点の在庫数をデータで一元管理リアルタイムで情報を把握可能

ユーザーのひと言

これまででは翌日の販売在庫数だけを管理していましたが、アプリを活用することにより、翌日だけでなくこれまでの販売在庫数がデータとして蓄積されるようになりました。作業員も販売在庫数を手書きする作業から解放され、FAXの手間もなくなり、業務の効率化を実感しています。アプリは幅広い年齢層の作業員が使いやすいように、現場の要望を聞き取りながら、パートナーのキーウェアソリューションズの担当者と都度相談、改修してもらいました。今回のプロジェクトではとにかく早く低コストでシステム化したいと思っていましたが、初回の相談から2ヶ月で本格稼働まで実現でき大変助かりました。

また、青果出荷時の特長として、前日に出荷量や価格を決めるため、非常にタイトなスケジュールで作業しています。そんな中、毎日の作業が3時間も短縮されたことは販売効率にも貢献しています。今後は実在庫と理論在庫を比較し、より高度な在庫管理を目指していきたいです。

つがる弘前農業協同組合
販売課課長 出雲 正人 氏
施設管理課施設係長 柴田 祥 氏

User Profile



JAつがる弘前

所在地：青森県弘前市城東北4丁目1-1

会社概要：JAつがる弘前の主な取扱農産物であるりんごの集出荷・販売

従業員数：363名

URL：https://www.ja-tu-hirosaki.jp/